

# autocult

Skoda 736 Buggy (チェコ共和国, 1975)

小型車

scale 1/43

#03024

available

03/2023

limited edition 333 Stck.



## 砂を知らないバギー

自動車の世界でバギーといえば、砂浜を軽快に駆け抜けるオープントップ 2シーターのことを指す。カッコよさ、楽しさが重要視される。

1970年代、ブームは鉄のカーテンを飛び越えてシュコダの施設へも及んだ。このとき、ファッションナブルなビーチバギーが注目された本当の理由は記録されておらず、わかっていない。しかし、1973年、バギー開発のスタートの狼煙があがった。開発には2年の歳月を要した。車体はモデル110Lの下部構造をベースにした。

操縦性を高めるため、ホイールベースを20センチ短くし、ルーフがないためアンダーボディを補強した。技術者たちは、最適な重量配分に細心の注意を払った。45馬力のエンジンはリアに、ラジエーター、バッテリー、40リットルタンクはフロントに配置された。もちろん、この種のクルマに設置が義務付けられているロールバーは、2x2人

乗り用として欠かすことはできない。当時、欧米では車体にGRPを使うのが普通だったが、シュコダの技術者は板金で車体をつくった。デザインを担当したのはヨーゼフ・チェッホである。

1975年10月までに、このプロトタイプのほかに4台の車両が社内研修生によって製作された。そのうちの1台は現在も残っており、ムラダ・ボレスラフ博物館に展示されている。

**AutoCult GmbH**  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

[www.autocult-models.de](http://www.autocult-models.de)